

【Word】 図を綺麗に貼り付ける

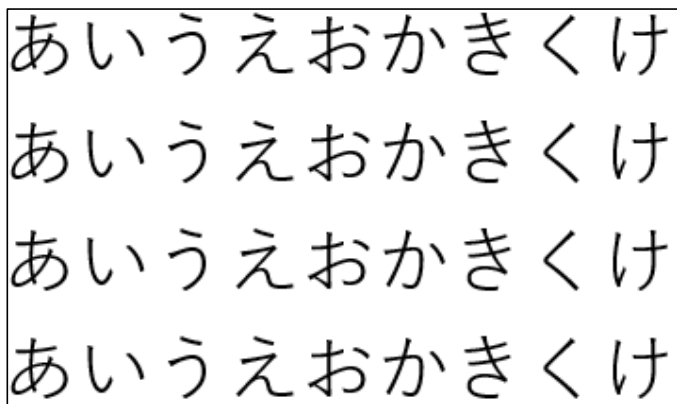
- 図の自動圧縮について … p. 2
- 拡張メタファイルの利用 … p. 6
- 図のレイアウトについて … p. 9

画像の自動圧縮について

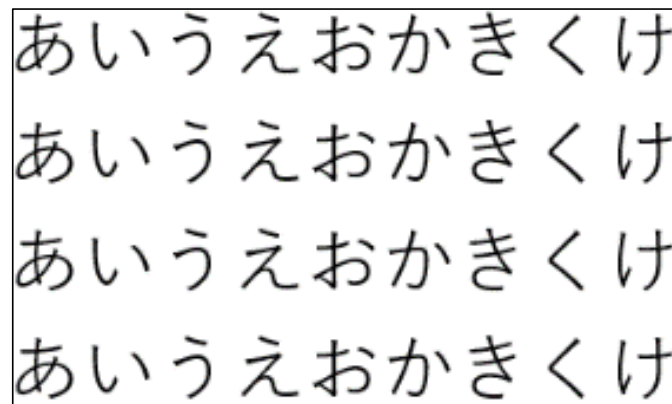
【Word】

画像の自動圧縮 1

- 既存の設定では、ファイル保存時に**画像が220ppiに自動圧縮**される
- 文字のように細い線を含む画像は、圧縮による影響を受けやすい



元の画像



圧縮後

画像の自動圧縮 2

- 自動圧縮はword文書の保存をしたタイミングで行われる
- 自動圧縮された画像を拡大すると、画質が粗くなることがある
- この問題は、図を「ベクタ形式」で貼り付けることで生じなくなる



元の画像



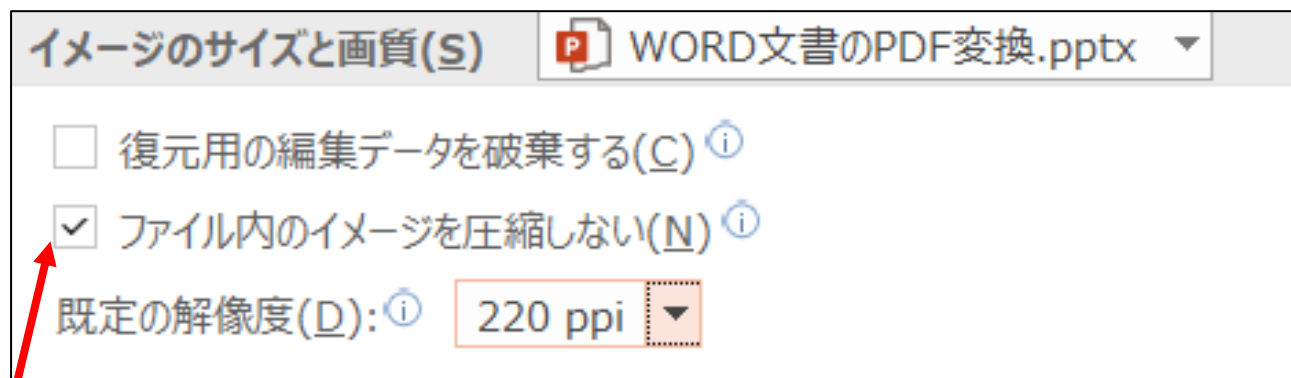
縮小&保存



拡大後

画像の自動圧縮 3 (自動圧縮の無効化)

- 「ファイル」→「オプション」→「詳細設定」から「ファイル内イメージを圧縮しない」にチェックをすると、画像の自動圧縮が無効化される
- 圧縮されないため、ファイルサイズに注意する必要がある



チェックを入れる

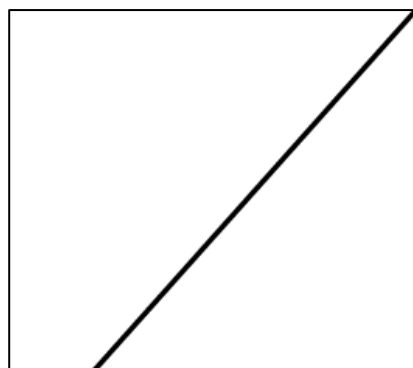
拡張メタファイルの利用

【Word】

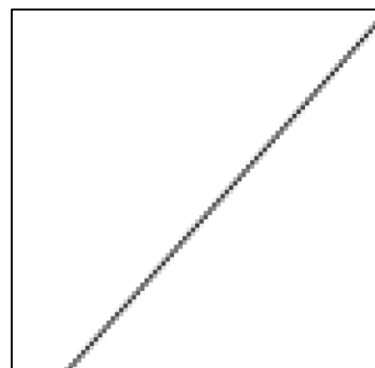
ExcelやPowerPointなどで作成したグラフや図をWordに張り付ける場合、拡張メタファイル形式に変換して貼り付ける方法もあります。

拡張メタファイル形式に変換するメリット

- ベクタ形式なので、pdfに変換後に拡大しても線がギザギザにならない
- 簡単な図(グラフなど)の場合、データサイズが小さいことが多い



PDFに変換後に拡大(拡張メタファイル)

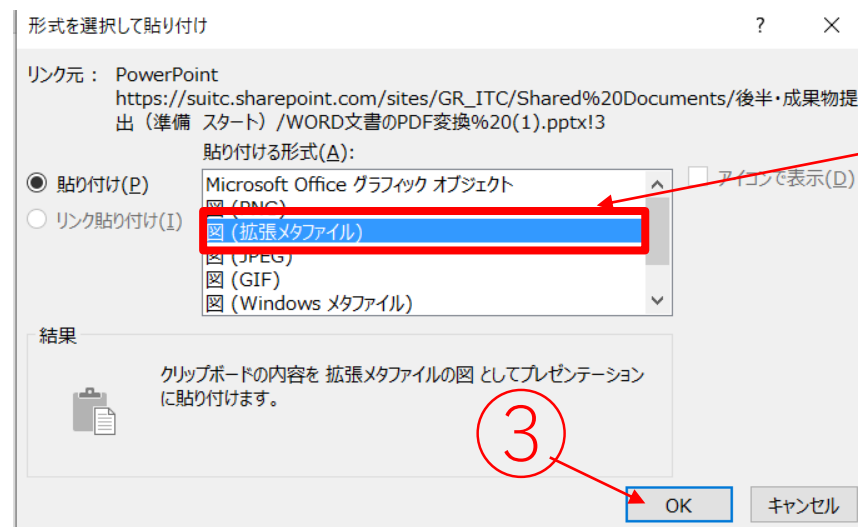
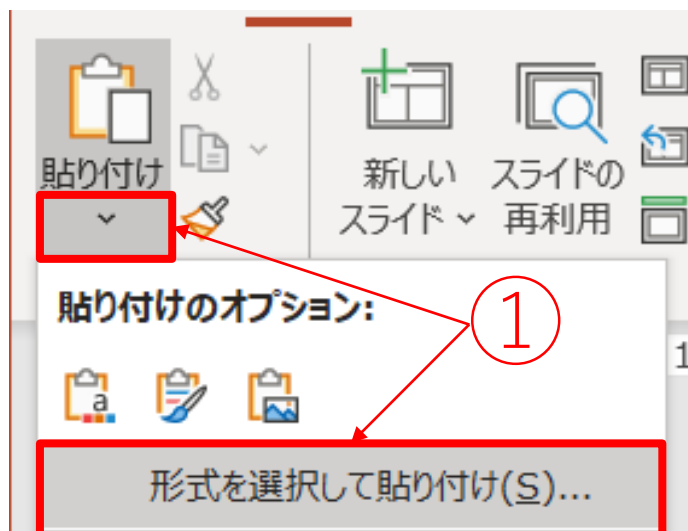


PDFに変換後に拡大(png)

拡張メタファイルの利用 2

拡張メタファイルに変換して貼り付ける方法

- ① [ホーム]タブの[貼り付け]の下の矢印をクリックし、[形式を選択して貼り付け]を選択
※ Ctrl + Alt + Vでもよい
- ② [貼り付ける形式]のリストから[図(拡張メタファイル)]をクリック
- ③ [OK]をクリック



図のレイアウトについて

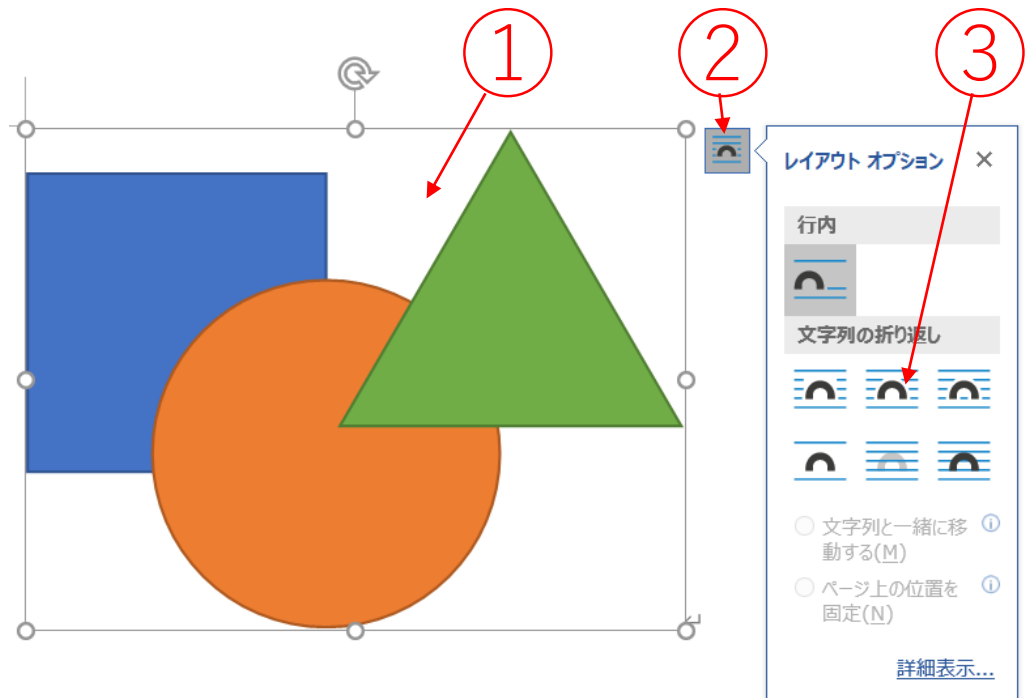
【Word】

図のレイアウトについて 1

図のレイアウトオプションを正しく設定することで、希望通りのレイアウトに仕上げられます。デフォルトでは「行内」になっています。

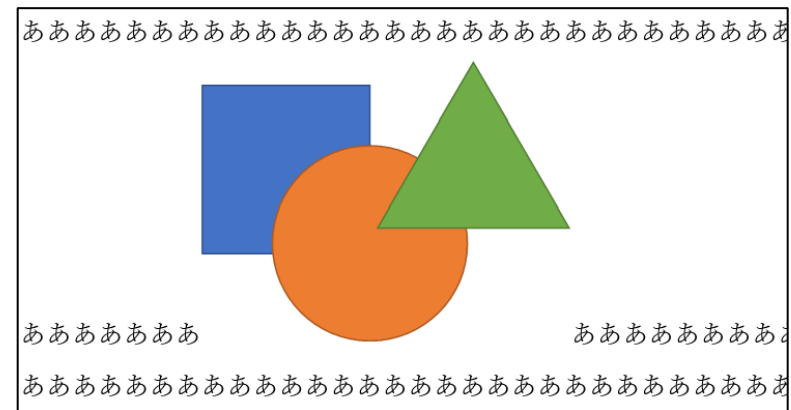
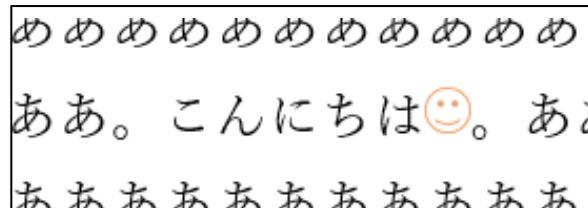
レイアウトオプションの変更方法

- ① 図を選択
- ② 図の右上のアイコンをクリック
- ③ レイアウトオプションの変更



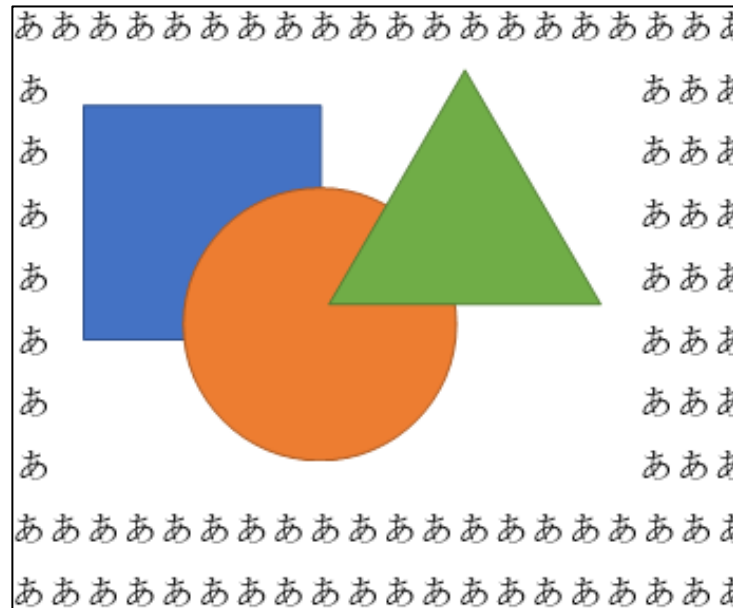
レイアウトオプションの「行内」

- 画像を文字と同じように扱い、文字と一緒に改行で移動
- 画像だけを動かすことはできない
- 文字と同じように「中央揃え」や「右揃え」を使える
- アイコン画像を文中に挿入するとき便利



レイアウトオプションの「四角形」

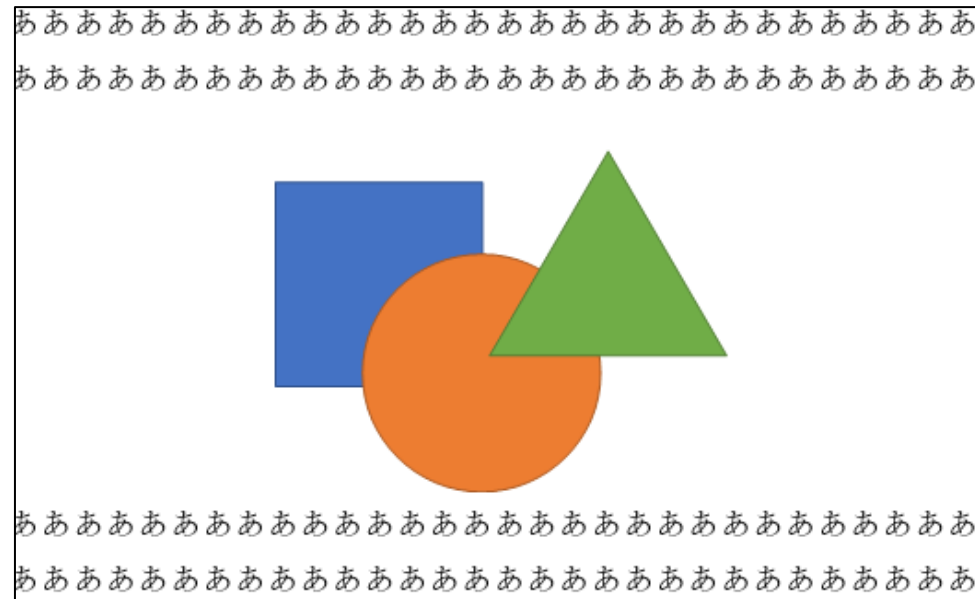
- 文字が画像を囲むようにレイアウトされる
- 画像が四角形でなくても、四角くなるように余白が生まれる



図のレイアウトについて 4

レイアウトオプションの「上下」

- 画像の上下に文字がレイアウトされる
- 画像の左右には余白が生成される



レイアウトオプションの「背面」

- 文字の背面に画像がレイアウトされる
- レポート作成では使う機会は少ない



図のレイアウトについて 6

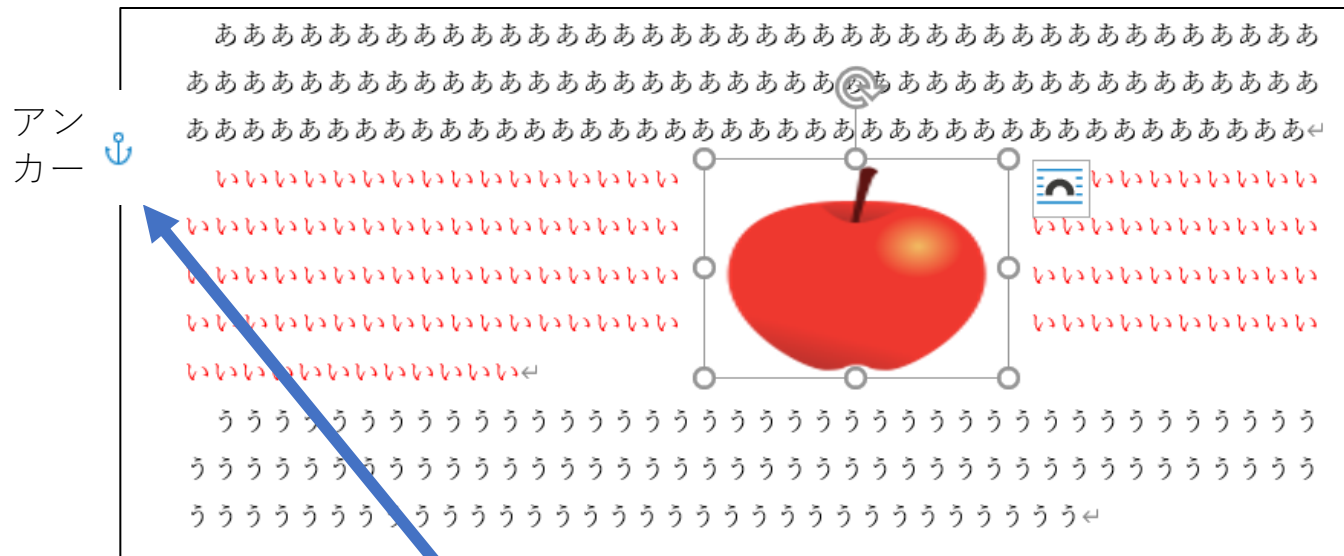
レイアウトオプションの「前面」

- 文字の上に重なるように画像がレイアウトされる
- レポート作成では使う機会は少ない



図のレイアウトオプションが「行内」以外の場合、「アンカー」という錨のマークが表示されます。

「アンカー」は図がどの段落に関連付けられているかを示しています。



リンゴの画像が二段落目(赤文字部分)に紐づけられている